

教育方法27 新しい学校・学級づくりと授業改革

- | | | |
|-----|--|--------|
| I | 学校の新しい役割と可能性 | |
| 一 | 情報・消費社会における学校の役割
—〈homo educandus〉から〈homo discens〉へ | 高橋 勝 |
| 二 | 学校自治の可能性—新教育は共同性の問題にどう取り組んだか— | 永田 佳之 |
| 三 | 新しい学校環境の創造と学校システムの開発 | 吉田 貞介 |
| II | 学級・ホームルームを問い直す | |
| 一 | いま、「問い直す」ことの意味 | 折出 健二 |
| 二 | 学級の学習効率化原則を問い直す | 奥平 康熙 |
| 三 | 「開かれた」学級づくり—「運命共同体」から「学びの共同体」— | 加藤 幸次 |
| 四 | キレル中学生と荒れる中学生をどうするか | 花山 尚人 |
| III | 戦後授業研究と授業づくりの課題 | |
| 一 | 戦後授業研究の成果と課題—共同研究にむけての二、三の提案— | 杉山 明男 |
| 二 | 戦後授業研究と教育実践—とくに研究視点をめぐって— | 小田切 正 |
| 三 | 戦後教育評価論の位相と展開 | 田中 耕治 |
| 四 | 授業研究と学習集団—その史的考察— | 豊田 ひさき |